ドナルド・キーン追悼企画展

生涯でいちばん幸福な時は現在です。

ドナルド・キーンの歩んだ道のり

2019年

4/1㊊→7/15㊊・㊗

「父の人生は幸せな人生だった。」養子に迎えられたキーン誠己さんの訃報第二報。たくさんの作家たちと交流し、たくさんの仕事を残したキーン先生の人生は、幸運にも恵まれていました。しかしそれは、キーン先生の努力と人柄による賜ものでした。ドナルド・キーン・センター柏崎のパソコンには、「キーン先生の笑顔フォルダ」があり、そこには、魅力に溢れたキーン先生の写真がたくさん収められています。それらは見ている私たちまで幸せな気持ちにしてくれます。人々を惹きつけてやまなかったキーン先生の人生を紹介します。

ドナルド・キーン・センター柏崎でのサイン会

追悼企画展

太平洋戦争とドナルド・キーン

写真で綴るドナルド・キーンのあゆみ

キーン先生 95歳のバースデーパーティー

主　催：公益財団法人ブルボン吉田記念財団

協　力：東京都北区、東京都北区教育委員会、東京都北区立中央図書館、読売新聞東京本社、BSN 新潟放送、ブルボン

ドナルド・キーン・センター柏崎
DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI
公益財団法人 ブルボン吉田記念財団

戦死した日本兵の日記に感動、日本文学研究者への原点

太平洋戦争とドナルド・キーン

日本兵の陣中日記や手記、手紙や遺書などの翻訳文書の作成もまた、語学士官の重要な任務の一つでした。そうした任務の中で語学士官ドナルド・キーンは、激戦地、ガダルカナル島で戦死した日本兵の日記を読み、戦場で綴られた日本兵の言葉に、思いに心を揺さぶられ、深い感動に包まれていったのです。

日本兵捕虜に訊問するドナルド・キーン
（沖縄戦）

アッツ島攻撃後にエイダック島で
戦友と一緒に撮った写真
（後列左、ドナルド・キーン、右手にカービン銃、
左手に研究社の和英大辞典を抱えている）

そのような苦難と闘っている男たちが書いた日記を読んでいて、なんらかの感動を受けないわけにはいかなかった。おそらく、どこかジャングルのタコツボ、ないしは孤絶した塹壕の中で、目前にあるのは死のみ、という状況で兵士がなぐり書きしたものだった。これらの日記を書いた兵士たちは、いわば私の、最初の日本人の親友だったのである。

ドナルド・キーン著 金関寿夫訳『このひとすじにつながりて』より

もし1941年に、日本とアメリカとの間に戦争が起こっていなかったとしたら、私が自分の一生を、日本研究という仕事に捧げたとは思えない。

私はこの戦争が与えてくれた一つの贈り物、すなわち日本語の知識を捨ててしまうことはすまいと心に決めた。

ドナルド・キーン追悼企画展

生涯でいちばん幸福な時は現在です。

ドナルド・キーンの歩んだ道のり

写真提供：東京都北区
日本人となった日の記者会見
東京・北区役所で

撮影：渡部雄吉
狂言『千鳥』の太郎冠者を演じる
東京・喜多能楽堂で

写真提供：共同通信社
文化勲章受章式。皇居にて

写真提供：文藝春秋
三島由紀夫と歌舞伎座楽屋にて

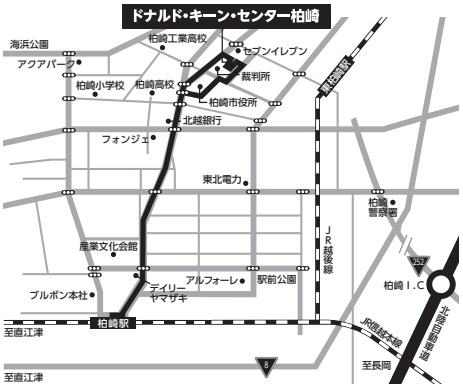
写真で綴（つづ）る ドナルド・キーンのあゆみ

1940年、源氏物語と運命的に出会い、以来、75年を超える年月、日本文学研究の道を一筋に歩み続けたドナルド・キーンの人生。

映像上映

キーン先生 95歳のバースデーパーティー

ロンドン・ケンブリッジの旅から帰国したキーン先生は、旧知の仲間から95歳の誕生日のお祝いを受けました。「生涯でいちばん幸福な時は現在です。」



公益財団法人 ブルボン吉田記念財団
ドナルド・キーン・センター柏崎
DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI
新潟県柏崎市諏訪町10-17　TEL 0257-28-5755
www.donaldkeenecenter.jp/

開館時間：10 時～ 17 時（入館は 16 時 30 分まで）
休 館 日：毎週月曜日・火曜日
（祝日・振替休日の場合はその翌日）
入 館 料：大人500円・中高生200円・小学生100円
（入館料にて企画展を観覧できます。）